

感染症は今のところずいぶん収まってきたように感じられますが、まだまだ油断できません。引き続き対策と祈りを続けましょう。

今年もクリスマス喜びを持って迎えることができるよう、お祈りいたします。

<信徒委員会からのお知らせ>

1. 今後の主日のミサについて

新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き現在の3グループによるローテーションを継続します。

月	日	曜日	グループ	司式
11月	21日	(日)	A	ジャック神父様 (第3日曜日)
	28日	(日)	B	谷神父様 (第1、第4日曜日)
12月	5日	(日)	C	谷神父様 (第1、第4日曜日)
	12日	(日)	A	集会祭儀 (齋藤助祭)
	19日	(日)	B	ジャック神父様 (第3日曜日)
	26日	(日)	C	谷神父様 (第1、第4日曜日)

Aグループ	大宮区・西区・中央区・桜区
Bグループ	見沼区・北区・緑区
Cグループ	岩槻区・伊奈・原市・白岡・蓮田・久喜

※谷神父様は現在大宮、上尾、館林の3教会を担当されています。

今後、第2日曜日は齋藤助祭による集会祭儀、第5日曜日は谷神父様、齋藤助祭、矢吹助祭が交代で担当され、谷神父様の時はミサとなります。

2. 総務部の受付奉仕について

教会が開いている時間は以下の通りです。

木曜日・日曜日 午前10時～午後2時

3. クリスマスマサについて

以下の日程で計3回行います。

事前申し込みが必要です。申込用紙と回収袋はロビーに置いてあります。

- ① 12月24日(金) 午後 6時から
- ② 12月24日(金) 午後 8時から
- ③ 12月25日(土) 午前10時から

申し込み締め切り：12月3日(金)

発表：12月5日(日) (ロビーと小聖堂に掲示)

4. 2022 年元旦ミサについて

1 月 1 日午前 11 時と午後 2 時の計 2 回行います。

クリスマス同様、事前申し込みが必要です。申込用紙と回収袋はロビーに置いてあります。

申し込み締め切り：12月12日（日）

発 表 : 12月16日（木）（ロビーと小聖堂に掲示）

クリスマスミサ、元旦ミサとも申込書は大宮教会の Web サイトからダウンロードしていただくこともできます。教会宛にお送りいただいても結構です。

申込数が定員を上回る場合は抽選で人数調整を行います。

※ 今年のクリスマスミサもパーティーはありません。

ミサに参加する人がお互いに小さなプレゼントを贈り合うことにします。

待降節に入ったら(11/28～)ロビーに箱を置きますので、
事前にラッピングした小さなプレゼント
(お菓子など、日持ちのする、かさばらない物)をお入れください。
クリスマスミサ後に一つずつ持ち帰るようにしたいと思います。
ご協力をお願いします。



5. 信徒総会と来年度予算案について

今年もコロナ対応のため、信徒総会が開けません。

来年度予算は各専門部から出された案を信徒委員会で協議し、承認されたものをプリントし、クリスマスミサの際にお持ち帰りいただけるようにします。

<クリスマスツリーとデコレーションについて>

今年のクリスマスもミサのみになりますが、救い主イエス・キリストの誕生を祝い、感謝の気持ちを表すために、クリスマスツリーでロビーを飾るために計画を立てています。

今年は、7 月末に発売された著書「コロナの世界を生きる～Let us dream」で教皇フランシスコが強調されているメッセージを心に留めて準備していきたいと思います。(以下抜粋)

「これまでの自己中心的な価値観を見直し、より安全で健全な世界を生み出しましょう」

「今こそ、大きな夢を見るべき時です。自分が何に価値を置くか、何を欲するか、何を求めるか、といった優先順位を見直し、自ら描いた夢の実現のために、日常の中で力を尽くすのです。」

今回は皆様にオーナメントを持ち寄って頂くことはしませんが、お手伝いしてくださる方を募集しています。

受付、または石崎または槻田にお声がけください。(ツリーの設置は 11/26 午前 11 時から)

デコレーショングループ 石崎・槻田

サモア～主に呼ばれて (3)

退職して海外にボランティアに行くことに気持ちは固まってきましたが、年末に黙想会に参加し、最終的に決断することにしました。

イエズス会の武蔵関にある修道院では年末年始にかけて 8 日間の霊操をやっていました。8 日間を半分に分けて 4 日間のコースもあり、そちらに参加することにしました。12 月 28 日から 31 日までの 3 泊 4 日です。

指導者がいて、何を祈りたいのか、今どんな状況かなどを 1 日に 1 回、30 分程度指導してもらいますが、それ以外は食事、入浴、ミサ以外は神との対話というぜいたくな 4 日間を過ごしました。指導してくださった修道士から示される聖書の箇所を読み、それについて黙想します。まるっきり社会と隔絶された 4 日間は本当に豊かな時間でした。皆さんもぜひ参加してみてください。

年明けに退職願を提出すると、もうまっしぐらという感じでした。住んでいたアパートを引き払い、4 月から明大前にある研修所に引っ越しました。

この研修所は淳心会の建物を借りていました。ここには、オリエンズ宗教研究所と松原教会があります。地方からくる学生のための学生寮だった建物が老朽化したので、学生寮としては使わなくなっていたものを JLMM が借りていました。食堂も広く、会議室もあり、部屋は狭いながらも個室なので、研修所にはぴったりでした。

退職し研修生として研修所に住み始めたものの、研修は 5 月の連休明けからなので、4 月はのんびりとしていました。週に 4 回ほどメリノール会のブラザーが英語を教えに来てくれるので、英語の個人レッスンを 1 日 30 分受ける以外は、横浜教区の叙階式に参加したくらいしか覚えていません。

メリノール会のブラザーは英語のレッスンの時は厳しかったです。最初はほとんど話せないで、1 日 3 つ、話のネタを考えておくようと宿題を出されました。研修所では英字新聞を取っていたので、拾い読みして話のネタを考えました。話し始めはいいのですが、何回かやり取りするともうだめです。日本にいる間はこの英語レッスンがかなり苦痛でした。

となりのオリエンズ宗教研究所の小聖堂では毎朝 7 時からミサがありましたが、寝坊することがほとんどで数えるほどしかミサに与らず、信徒宣教者なんて言えるのかとちょっと自己嫌悪になることもありました。ぐうたらした 4 月も終わり、いよいよ本格的な研修が 5 月から始まります。

(つづく)

見沼区 齊藤



♪ オルガニストのつぶやき ♪ ～ いっしょに弾きませんか ～

わたしが学んだ聖グレゴリオの家教会音楽科は御聖堂での朝の祈りから一日が始まります。朝の祈りでは、聖書朗読、オルガン奏楽、グレゴリオ聖歌先唱がお当番でまわってきます。これがまた大変勉強になるのです。

- ・ 聖書朗読 …… みことばを神さまに代わって分かりやすく皆さまにお伝えする。
- ・ グレゴリオ聖歌先唱 …… 教会暦に合わせて、季節、祝日に応じて細かく分かれている為、間近にならないと曲目が決まらない。神のことば（ラテン語）を無伴奏で自分の音で歌いきる。
- ・ オルガン奏楽 …… グレゴリオの家のパイプオルガンは、しっかりと楽器、響きに向き合わないと、演奏がめちゃくちゃになる。

というわけで、お当番の日は、朝出かけるときから「緊張するー!!」となるわけです。又、入学してまず橋本周子先生のお話にビックリしたことがありました。先生は、「上手に歌おうとするな、上手に演奏するということばかり考えるな」とおっしゃいました。わたしは「はあ？」と頭の中が『?』だったのですが、後にわかったときには納得でした。

J.S.バッハ、D.ブクステフーデなどの大曲を弾いたり、技術的な演奏ばかりに頭がいき、一番大切なことが抜けていると。

宗教音楽を演奏する上で一番大事なことは、神に向かうということ、【祈り】が入っていないではないかとおっしゃりたかったのです。それは、聖書朗読、先唱、オルガン全てに通ずることです。いつもそのことを念頭におき、オルガンに向かっています。



* * * * *

私と徳良さんの呼びかけに応えてくださる方が現れ、早速 10 月末 A グループのミサで弾いてくださいました。

見沼区の新海さんです。私達の祈りが神さまに届きうれしい限りです。オルガンを通して、神さまを讃え、喜びをもって奉仕してくださる方をお待ちしています。お気持ちのある方、お声がけください。

オルガニスト 高野

* 投稿を募集しております。FAX か郵送で受け付けております。

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町 2 丁目 3 5 0 カトリック大宮教会 広報部宛